

第24回 図書館とともにすすめるまち・教育・情報の未来



図書館総合展2022

— ONLINE — **plus** (おんらいん ぷらす)

出展説明会

「引き続きご出展の皆さまへアップデートした点などを」 編

図書館総合展運営委員会

お問合せ先：LF@j-c-c.co.jp

■本日のすすめかた

- だいたい1時間を予定。
- 見逃し視聴の方用YouTube公開のため録画させていただきます。
- ご質問とご要望は、zoomのチャットか（できるだけ時間内に回答）
- 共有ドキュメント か（詳しく回答） <https://bit.ly/3IITLXs>
時間中にお答えしきれないもの、またより詳しい回答を、説明会后、共有ドキュメント上におきます。
- お問い合わせへ（こっそりっぽい問い）
<https://www.libraryfair.jp/contact>
- 小展へのご要望も同様です。
- 挙手発言も受け付けます（ミュートを外してお声かけを）

■本日の説明会

- 本日のすすめかた
- 小展ご紹介（これまでの振り返り）
- 今年の開催形式と力点
- 運営委よりご提供するもの／しないもの、出展者にご用意いただくもの
- 昨年からの変更（拡張）
- 開催までのスケジュール
- サテライト会場とカンファレンス会場
- 開催案内冊子とwebサイト
- 質疑応答

■小展ご紹介（これまでの振り返り）

- 小展は（2019年まで）毎秋、パシフィコ横浜（ホールD+アネックス）を会場に、3日間の会期、のべ3万人の来場、300～400の出展、90の講演で開催してきました。館種を越え、立場を越え、テーマを越えて集まる図書館イベントは他には多くなく、この種のコンベンションでは日本最大です。
- 2021年からは時世の影響を受け、コンテンツ（展示・イベント・ワークショップ・LIVEなど）を全面オンラインで開催。会期は1カ月間（後述：出展者さまのPRご利用は1年間）。限定コンテンツもみられる登録ユーザーは、2022年5月時点で14,254となっています。
- オンライン化の経緯と収穫については、CA1996、「社会教育」2021年11月号にご報告させていただいております。

■現在の形式の価値と評価

● 成功：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加が格段に増えました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。
- ★講演、WSに代わる様々なイベント形式を試す場になりました。

● 失敗：

- ★コア日の設計を間違えました。→**今年は完全に廃止**
- ★せっかく外に開けたのに「図書館外」へのアピール不足。
→**拡散・広報先を拡充**
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。→**…どうしたものか…**
- ★そして、、、何か足りない。
- ★均衡収支バランスを失っています。

■現在の形式の価値と評価1

・オンライン化で獲得しているもの：

- ★学校図書館、ワンパーソン・ライブラリー、非正規さん、遠方の皆さまのご参加を頂きました。
- ★「図書館にまだ少ししか関わっていない（しかし近々近しくなろう）」という方々」のご参加を頂きました。
- ★図書館界のIT促進に微力ながら貢献できたかと思っています。
- ★講演、WSに代わる様々なイベント形式を試しています。

・オンライン化で失っているもの：

- ★同じ立場の同志との偶然の出会い。
- ★違う館種の方々との同席・相席・出会い。
- ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。
- ★参加者さんの集中力をつくりきれず、また参加者さんの時間をやみくもに奪ったおそれもあります。
- ★そして、、、何か足りない。

■現在の形式の価値と評価2

- **オンライン化でも継がれているもの：**
 - ★発表・営業を通じたコネクションの形成。
 - ★他館種、近隣業界から情報収集するのは極めて有益、という感覚。
 - ★〈業者-図書館〉間が近しく親しい。祝祭期間としての小展。
- **2022年開催で奪還また獲得をねらっているもの：**
 - ★復活するリアル（対人、対物）への肩慣らし。
 - ★withコロナ、postコロナの営業・広報スタイルを試行錯誤
← **「失敗していい空間」としての小展 ONLINE**
 - ★後輩、新人への人脈とノウハウの引継ぎ。

■開催形式と力点

1. 期間内ひいては年間通じた作戦でPRできる **オンライン開催**
2. 司書のひとり一人、全国各所が会場になる **サテライト会場開催**
3. ひさしぶりと新たな出会いで次を拓く **カンファレンス会場開催**

の3本立てです。

【力点】

「雪解けの水は美味しい」「久しぶりに会うあの人はいい人」
という感覚、時の利をおおいに味方にしてください、しましょう。

■運営委よりご提供するもの／ しないもの、出展者にご用意いただくもの

- ご提供するものは、**場とインデックス**、**広告・広報・告知**、**場の盛りあげ**、**機会**です。
- **開催案内冊子**（タブロイド判、9月下旬発行）、メルマガ（週刊、36,400件）、SNSでご出展とイベント情報を拡散します。
- サーバー上に出展団体ページとイベント案内ページほかをご提供しますが、その外つまりリンクで自社サイトなどに拡げるのはもちろん自由です。
- **フォーラム（イベント）は各自で制作していただき（YouTube、Teams、Zoomなど）、小展サイト内でリンクを示すしくみです。**
- ご提供するページは、各出展者が随時編集できるかたちです（wordpress程度の作業）

(といつつ)

■ほんとうにご提供するものは

- 出展者さまが内部外部の各方面へする **ご説明** (と責任転嫁)
- 新しいこと・ひと・ときへの **きっかけ**
- **失敗** していい機会

■ 昨年からのupdate

1. 公式webサイトが、年間PR体制になりました
2. 「サテライト会場」が、より“自由な”登録制になります
3. 「見学会ONLINE」は発展的解消とします
4. 会期中2回程度、1dayのカンファレンス会場を設けます
5. ブースツアーONLINEを拡大運用します
6. アカウント登録とメルマガ登録が一体化します
7. マイアカウント管理を変更しました
8. 出版社がオンラインの本展にも入ってきます
9. 対外拡大政策をすすめます

■1 公式webサイトが、年間PR体制になりました

1. これまで同様、全出展者様が毎週木曜配信のメールマガジンにPR情報を掲載していただけるほか、
2. Webサイトに「会期外のイベント掲示ページ」を設けました。
<https://www.libraryfair.jp/event>
3. 出展（一般・非営利）またサテライト会場登録の皆さまには、個別のイベント情報ページをもっていただけます。
4. 各イベントページは、開催後もアーカイブとしてのこります。
5. 【ねらい】「自社のイベントページがパーマネントリンクを持っていない。」「他部署との相乗りなので、埋もれてしまいがち」「会期後の記録置き場にしたい」という要請を受けてのことです。
6. 追加出展料はありません。

■2 「サテライト会場」が、 より “自由な” 登録制になります

1. 昨年、位置づけの定まっていなかったサテライト会場は、「登録すれば基本的に何をしてもいい」というものになります。
2. 昨年のような防疫セットの支給はありませんが、登録すると、「サテライト会場ポスター&スタンプラリーキット+記念グッズ支給」「運営スタッフ派遣」「外部企画のあっせん」などがあります。

■2-1 サテライト会場とは 1

- 出展者さまのオフィス、ショールーム、工場など、また図書館を、見学会に・相談会に・イベントにと、来場者を招いて公開するものです。

<https://www.libraryfair.jp/news/2022-05-11>

- またたとえば昨年は「総合展イベントをパブリックビューする会場」にも立っていただきました。
- サテライト会場開催は「行政等の指導・基準に従いつつ開催可否を判断する」ものとし開催不可能な場合のオンラインに代替できるよう、来場者にあらかじめ告知するものです。
リバーシブル開催です。

■2-2サテライト会場 2

- サテライト会場は、全会期にわたって開催しなくともよく、断続的に開催してもよいです（会場主と行政判断）。
- サテライト会場では、会場主のイベントのほか、他の出展者との協業、共催をすすめていただくこと大歓迎。運営委員会企画も出張します。
- サテライト会場には、運営委員会主催企画の「スタンプラリー用部材」「景品バッジ」「会場表示ポスター」等をお送りします。
- サテライト会場運営にあたっては、事務局でマニュアルを用意し、場合により事務局員を派遣します（無料）

■3 「見学会ONLINE」は 発展的解消とします

1. とくに特集ページをもって枠組みを設定していた見学会ONLINEは、みなさんが気軽にオンラインイベントを実施するようになりましたので、とくに枠は設けず、「出展者イベント」と「サテライト会場」に吸収します。

<https://www.libraryfair.jp/feature/2021/34>

2. サテライト会場は、基本的にどういう企画もOKのうえ、登録すると、グッズとポスターが支給されますので、ぜひ、こちらへ。

■4 会期中 2 回程度、 1dayのカンファレンス会場を設けます

1. 会議の序盤と後半に 2 回、100～200名が一時的に入場できる出入り自由の空間イベントを、それぞれ 1 -2dayで開催します。
2. 会場では長机ブース+トークイベントステージ、ほか展示スペースを設けます。
3. ここへのブース設置+イベント実施 (+レセプション) は出展者有料オプションとし、110,000～330,000円の追加オプション料で調整中です。
4. 序盤は横浜or東京で検討中
5. 後半は、11/26-28に鳥取市 (鳥取県立図書館をコアに) で開催。こちらは都道府県立図書館サミットと併催です。
6. 7月頭までに発表 (オプション出展もそこで募ります) 。

■5 ブースツアーONLINEを 拡大運用します

1. 昨年、会期中に実施して受講者にも発表者にも好評だった〈ガイドと巡るオンライン・ブースツアー〉は、会期内外に拡大します。
<https://www.libraryfair.jp/feature/2021/26>
2. 大学の先生方をガイドに、司書課程や図書館情報学の講義と相乗りにした回が好評でこちらを、会期内・会期外とも推進します。
3. おって、大学・団体・研究者さんと、出展者さんの意向やご要望をひろく伺いつつ、マッチングをすすめます。

■6 アカウント登録と メルマガ登録が一体化します

1. これまで別立てだったサイト全視聴用アカウントへの登録と、メルマガ受信登録を一体化し、来場者への情報提供パイプの強化をはかります。

■7 マイアカウント管理を 変更しました

1. これまでアカウント登録時に登録するメールアドレスを変更することができませんでしたでしたが、今後は同一のアカウントを保ったままメールアドレスを変更することが可能になりました。※但し、同時に同じメールアドレスが登録されたアカウントを複数もつことはできません。
2. これに伴い、所属異動があっても、所属組織のメール体系が変更になっても新しいアカウントをつくる必要がなく、また過去に編集していたページも引き続きまとめて編集することができるようになりました。
3. 【注】これに伴ってログイン時の入力IDが変更になります。今後は「メールアドレスのみ」です。

■8 出版社が オンラインの本展にも入ってきます

1. この2年間、ほぼ別働企画「図書館へのおすすめ本」冊子発行のみでご参加いただいております出版社・著者さんをオンライン企画に勧誘し、またサテライト会場等、リアル部分でもご参加を促しています。
2. たとえばこの場
<https://www.libraryfair.jp/satellite/2021/10>
3. たとえばこの企画
<https://www.libraryfair.jp/feature/2021/36>

■9 対外拡大政策をすすめます

1. 「日本の図書館事情を毎日みられるとは、なんと有難く、なんと嬉しいことでしょうか」というお便りを海外の大学におられる日本の研究者の方からいただいております。
2. 日本の情報を海外に、海外の情報を日本に、の両面で企画をすすめています。

■開催までのスケジュール

- 5月23日：サイトリニューアル（年間イベント告知体制へ）
- 7月中旬：2022年ページに切り替わります。ここまでにお申込みいただければ最初からtop表示です（2020年以前のコンテンツはアーカイブ公開に移行します）
- **～8月31日：出展申込×切（開催案内冊子へ掲載するなら）**
- ～9月10日頃：開催案内冊子校了（イベント開催日・タイトル・「募集！」など掲載したい情報をこの日まで）
- **9月下旬：開催案内冊子全国送付（フォーラム受付開始）**
- 11月1日～30日：会期（特集日を設定）

■まずは

- お申込みを！
- 出展料：
一般 = ¥220,000 (税込)
非営利 = ¥110,000 (税込)
ポスター = ¥11,000 (税込)
- **お早めに！ 申込時より1年間、メルマガ・webページ・SNSをお使いいただけるからです。**
- **サテライト会場（後述）にもご登録いただけますと効果倍増です。**

■開催案内冊子

- 今年もタブロイド判4c8p構成（予定）です。
- 8月20日～9月13日頃まで編集、9月末全国発送です。
- 発行部数 30万部
- **紙面広告、折込広告についておってご案内します。**
- **図書館周縁、図書館外へのPR、問いかけを重点課題においています。**
- 今年はイベントページ配布数に制限がないので「9月9日決定分」までしか掲載できません。…配布後はwebサイトを参照していただくかたち。

■ 質疑応答など

- 個別の相談会も承っております。
- 質疑記録をこちらに残します（順次改訂）
<https://bit.ly/3IITLXs>
- この説明会の動画はこちらから
<https://www.youtube.com/channel/UCvKAycXbwtCFLrsdsZe89nA>
-

みなさまのご出展をお待ちしております。